

※本ニュースリリースは、株式会社ヤマザワ、BIPROGY 株式会社の共同ニュースリリースです。重複して配信される場合がありますこと、ご了承お願いいたします。

株式会社ヤマザワ
BIPROGY 株式会社
2024年9月27日

ヤマザワ全70店舗にAI自動発注サービス「AI-Order Foresight」を導入 ～人手不足問題解決や廃棄ロス削減に向けてAI需要予測による発注業務の自動化を開始～

株式会社ヤマザワ（以下、ヤマザワ）は、BIPROGY 株式会社（以下、BIPROGY）のAI需要予測による発注自動化サービス「AI-Order Foresight」を日配部門に導入し、人手不足問題解決や廃棄ロス削減に向けた取り組みを開始しました。

「AI-Order Foresight」を活用することで、AIが自動でピックアップした商品を確認するだけで発注が行えるため、大幅な発注時間削減を可能にします。スキルや経験が異なる担当者ごとの品揃えのバラつきを平準化するとともに商品の過剰発注や発注不足を減らし、販売機会ロスや食品廃棄ロスを削減します。

BIPROGY とヤマザワは、発注担当者の業務を自動化することで、接客時間を創出しお客さま満足度を高める売り場づくりを推進していきます。

【導入の背景】

ヤマザワでは一般食品や雑貨などを扱うグロッサリーや住居関連商品については、すでに基準在庫補充方式^(注1)の自動発注システムを利用しています。しかし、日配品（卵や冷蔵食品）は消費・賞味期限があり販売期間が短いため、既存の自動発注システムが利用できず、手作業で発注作業を行っていました。また、日配品の発注数量は豊富な発注経験のある担当者の経験や勘に基づいた需要予測で決めており、人手不足問題への対処とお客さま満足度を高める売り場づくりを両立していくためには日配品の発注作業の効率化や平準化が必要でした。

（注1）基準在庫補充方式：一定数量を販売したらその販売分だけを発注（補充）する方式

【ヤマザワ日配部門での「AI-Order Foresight」導入効果】

① 発注作業の効率化と精度向上により削減された時間でよりよい売り場づくりへ

「AI-Order Foresight」で算出された各商品の発注数量のうち、AIがピックアップした商品のみを確認することで、発注作業の削減と精度の向上を実現します。削減された時間を活用し、お客さま満足度をより高められる売り場づくりが可能になります。

② 発注業務の平準化

発注業務がAIで自動化されるため、AIがピックアップした商品のみを発注担当者が確認する運用となり、発注業務の平準化を実現します。そのため、発注担当者の経験やスキルに依存しない発注精度を維持することができ、働きやすい職場環境づくりにも取り組みます。

③ 在庫数最適化による販売機会ロスや廃棄ロスを削減

AIを活用した高精度な発注業務により、担当者ごとの品揃えのバラつき平準化を実現します。品切れや過剰発注が減少することで、販売機会ロスおよび廃棄ロスを削減します。

【今後の取り組み】

BIPROGY とヤマザワは、生鮮食品のアウトパック品など他カテゴリーに対する「AI-Order Foresight」の活用も計画しています。今後も、店舗運営における業務効率化や生産性向上に向けた取り組みを推進し、お客さま満足度をより高められる売り場づくりを目指していきます。

以上

■ AI 需要予測による発注自動化サービス「AI-Order Foresight」 サービス概要

「AI-Order Foresight」は、小売店舗の販売実績・気象情報・催事情報などの各種データをAIに学習させて、適切な商品発注数を自動決定するサービスです。作業負荷が高く、従業員の経験や勘に依存していた発注業務を「AI-Order Foresight」で自動化することで、発注業務の負担を軽減し、経験やスキルに依存しない店舗運営を実現します。

仕入が毎日発生する日配品や生鮮品は消費期限や賞味期限が早く、精度面での課題から、従来の自動発注システムでは実現が困難でした。BIPROGYが保有する統計解析技術とAI技術を活用した「AI-Order Foresight」では、短時間で高精度な発注数を算出し、日配品や生鮮品などの自動発注も可能にします。また、従来の需要予測では欠かせなかったデータサイエンティストやアナリティクス組織による予測モデルの改善を、AIが代替実施できるため、データ分析のノウハウが自社になくても予測精度の維持・向上に取り組めます。



AI-Order Foresight導入の効果

発注作業の削減

基本的にAIの予測数で発注するため発注業務にかかる時間を削減します。売り場づくりや品出しなどの業務に時間を使うことが可能になります。

在庫数最適化によるロスの削減

AIは欠品・廃棄ロスが最小化する最適な在庫数を判断し、発注数を算出します。よって、欠品・廃棄ロスの削減につながります。

発注業務の標準化

全てのカテゴリが同じ発注作業になることにより、業務が標準化されます。よって、部門にとらわれず発注業務を行うことが可能になります。

■ 関連リンク：

小売業向け AI 自動発注「AI-Order Foresight」

<https://www.biprogy.com/solution/service/aioorder.html>

※AI-Order Foresight は、BIPROGY 株式会社の登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

https://www.biprogy.com/newsrelease_contact/